

# 令和5年度 保育園自己評価

社会福祉法人 山目保育園

○「保育所は、保育の質の向上を図るため、保育の計画の展開や保育士等の自己評価結果を当該保育所の保育内容等について自ら票価を行い、その結果を公表するよう努めならない。」と保育指針に明記されています。

当保育園ではこのことに基づいて保育理念・保育指針・保育目標等を土台として検討し保育園としての自己評価について、評価の項目、視点、方法及び評価結果の示し方について作成致しました。

## 1. 山目保育園 保育理念・保育方針・保育目標・年齢別年間保育目標

### 保育理念

・児童福祉法に基づき、「保育に欠ける」乳幼児の保育を行います。保育に当たっては、入所する全ての子どもを愛護し幼児の最善の利益を尊重し仏教保育の教えを柱とした考え深い豊かな人間になる為の素地を養い「生き生きとした子ども」を目指します。

### 保育方針

・子どもたちが健康で明るく楽しく安心し充実した生活が出来るよう環境に配慮し、養護と教育が一体となった保育を展開していきます。  
・子どもたちが育つ道筋を見据えながら、小学校・地域社会とも連携し、要望・意見・相談にも応じ福祉施設としての社会的責任を果たしていきます。  
・基本的姿勢は仏教の教えを柱とした豊かな情操教育

#### 仏教保育の三綱領として

慈心不殺(じしんふせつ)……生命尊重の保育を行う  
仏道成就(ぶつどうじょうじゅ)……正しきをみて絶えず進む保育を行う  
正業精進(しょうぎょうしようじん)……よき社会人をつくる保育を行う

子どもたちひとり一人の発達過程に応じた心身の調和的発達を図り家庭とも協力していきます。

### 保育目標

○元気で明るい子ども ○思いやりのある子 ○約束を守り、仲良く出来る子ども  
○自分の考えをはつきり言える子ども ○物事を最後まで、やりきる子ども

### 年齢別年間保育目標

乳児一適切な環境のなかで、保育者と安定した人間関係を満たしていく。  
1歳児一保育者や他園児とふれあいことば・歩行の完成をはかりながら、生活習慣を身につけていく。  
2歳児一基本的生活習慣の自立を助け、模倣活動を促し友達への関心を広げ育てていく。  
3歳児一基本的生活習慣の自立を図り個々の要求を大切にしながら集団生活の適応を経験させていく。  
4歳児一友達とのつながりの中でいろいろの活動を通して社会性、創造性を育んでいく。  
5歳児一集団生活の中で自立し、友達と強調しあい創造性を育て、意欲的に活動し、  
社会的経験も踏まえて豊かな感覚や心情を育てていく。

## 2. 上記の当園保育目標を基に今年度の保育評価の具体的な目標や計画として

### 1. 保育を支える園の組織的基盤として

- (1)保育課程の共通理解を図り、長期・短期的計画作成、養護と教育の一体的に行い、保育を振り返り評価しながら進めていく。
- (2)乳児及び1～3歳未満児の保育の重要性を改めて認識しながら日々の保育を大切に進めていく。
- (3)コロナ禍以後もオンライン研修を積極的に取り入れ職員全体の資質向上・共有を図る。
- (4)園児・保護者のプライバシー保護に努め、相談や苦情・意見を述べやすい環境にしていく。
- (5)「子どもを尊重する保育」の為に施設内での不適切な保育等が無いよう一人ひとりの人権を尊重した丁寧な保育を心がけていく。
- (6)様々な感染拡大防止の観点からも衛生面や安全に関する様々なマニュアル等確認と全体周知をし、適切な環境整備を進めていく。

### 2. 保育内容について

- (1)養護と教育の一体的展開を図り、各クラスが互いに連携できる体制をとっていく。
- (2)乳児及び1～3歳未満児の保育の重要性を改めて認識しながら日々の保育を大切に進めていく。

- (3)一人ひとりの発達にあつた保育で安心して過ごせるよう穏やかに接し、子どもの育ちの過程を丁寧に伝え合いながら家庭との共通理解に努めていく。  
 (4)危機管理マニュアル・事業継続計画(BPC)を職員全体で周知し、協力し対応出来るようにしていく。  
 (5)感染症対策・予防を職員全員で周知・徹底対応し、日頃から園児の体調に留意していく。

以上を取り上げていくことと致しました。

### 3、保育園自己評価表

運営管理		評価
1、保育理念・基本方針を職員や保護者等に周知する為、見える場所に掲示している。	A , B , C , D , E	B
2、定期的な職員会議等を通じ職員の資質向上、業務効率化や改善等に努める。	A , B , C , D , E	C
3、園長や主任・職員の役割分担が明確にされ、園児や保護者への迅速な対応ができる体制がある。	A , B , C , D , E	B
総合評価	・定期的に職員会議やクラス担任同士でも理念・方針について理解し合い、実践に向けて創意工夫しながら園児・保護者への対応を心がけている。	B

守秘義務		評価
1、園児の個人記録は個人情報保護法に基づいて管理・保管している。	A , B , C , D , E	A
2、園内で知り得た事柄について守秘義務を徹底している。	A , B , C , D , E	A
総合評価	・園で知り得た個人情報、記録等は守秘義務を徹底している。 個人記録に関しても管理・保管に注意を払っている。	A

安全・危機管理		評価
1、事故災害事のマニュアルがあり、職員が直ぐに見ることができる所にある。	A , B , C , D , E	B
2、外部からの侵入者に対し対応策がなされ訓練が行われている。	A , B , C , D , E	C
3、緊急時の為に医療機関等の連絡先が明示されている。	A , B , C , D , E	B
4、園内の施設設備・遊具等の安全点検は定期的に実施している。	A , B , C , D , E	B
総合評価	・事故他等マニュアル医療機関連絡先はクラス毎直ぐみられる場所に提示。 点検は専門業者にも依頼。外部侵入対応も今後もっと検討していく。	B

保育環境		評価
1、保育環境を常に清潔に保ち美観を大切に心地良い環境で出来るよう努めている。	A , B , C , D , E	B
2、室内の温度、湿度、換気、照度等は園児の活動に合わせて配慮している。	A , B , C , D , E	B
3、季節の草花を飾り、保育の中で園児が季節感を感じる様な配慮を行なっている。	A , B , C , D , E	B
4、野外での活動の場があり、園児が安全に活動しやすい環境を整えている。	A , B , C , D , E	C
総合評価	・日々の掃除等の他、園舎脇・裏側の雑草・溝掃除も定期的に掃除をし蚊・蚋等の発生を抑えたい。庭は毎日交代でチェックし、玄関等の美観も心掛けている。	B

健康管理・衛生		評価
1、園児の健康診断は定期的に実施され、その結果は職員や保護者に伝達され保育に反映させている。	A , B , C , D , E	A
2、日々の園児の健康状態を観察し、一人ひとりの体調に合わせた保育を心がけている。	A , B , C , D , E	B
3、玩具、遊具については常に衛生的に保持している。	A , B , C , D , E	B
4、SIDS(乳幼児突然死症候群)や感染症等予防対策やマニュアルが用意されている。	A , B , C , D , E	A
総合評価	・健康診断結果票を保護者に配布伝達。日々園児の体調を把握。玩具等毎日消毒し記入票に記載。SIDS・感染症予防対策も継続している。	B

保育内容		評価
1、全ての園児について、一人ひとりの最善の利益とその人権を尊重している。	A , B , C , D , E	C
2、園児に分かりやすい温かな言葉使いで穏やかに話しをしている。	A , B , C , D , E	C
3、基本的生活習慣は園児の発達を考慮し家庭と連携し状況に応じ対応している。	A , B , C , D , E	B

4、園児の発達に応じた玩具や遊具を質・量ともに適切に用意している。	A , B , C , D , E	B
5、身近な自然に触れる機会を用意し季節感豊かな感性を育む配慮をしている。	A , B , C , D , E	C
6、園児同士の関わりで、順番を守るなどの社会的ルールを身に付ける配慮をしている。	A , B , C , D , E	B
総合評価	・様々な場面で振り返ると言葉掛けや行動等で反省する面もあり、改めて一人ひとりの 人権・人格を尊重し穏やかに接し、家庭と連携して行きたいと思います。	C

食育		評価
1、旬の物や季節感のある食材を用意し、食文化を伝える工夫をしている。	A , B , C , D , E	B
2、園児の発達に応じ食事の介助を適切に行い、落ち着いた環境で和やかに楽しく 食事が出来る環境がある。	A , B , C , D , E	B
3、毎月の献立は保護者に示され、毎日の食事の状況を保護者に知らせている。	A , B , C , D , E	A
4、食物アレルギーのある園児は、栄養士と職員で密に連絡を取り除去食で対応している。	A , B , C , D , E	B
総合評価	・旬の食材使用し献立作成、提示。個々の食事状況等も保護者に伝えている。 アレルギー等は看護師・栄養士・保育士間で情報共有し対応している。	B

子育て支援・地域交流		評価
1、園児の送迎時に園児の様子を保護者に伝えている。	A , B , C , D , E	C
2、虐待防止マニュアルがあり、虐待の早期発見に努めている。	A , B , C , D , E	B
3、保育参観等の機会を設け、保護者に保育を理解してもらう工夫をしている。	A , B , C , D , E	B
4、中高生の職場体験や実習生の受け入れ体制について、その意義や方針を全職員 が理解している。	A , B , C , D , E	C
総合評価	・様々な感染症等で行事での人数制限・延期・中止もあり、日々送迎時に一人 ひとりの様子を伝えるよう努力していますが、交流には難しさを感じています。	C

#### 評価について

- A……理想的な状態、達成できている状態…100%
- B……達成間近、取り組み等を頑張っている状態…80～90%
- C……通常普通に行われている状態…70～80%
- D……頑張って取り組まなければいけない状態…40～50%
- E……ほとんど達成できていない状態…30%以下

## 令和 5年度 自己評価のまとめ

保育園では、今年度も「自己評価につながるMyふりかえりノート」を利用して各自、項目ごと自己評価を行ない、また保育園自己評価表を通して今年度の当園としての自己評価のまとめを出してみました。

### (1)園全体として（保育を支える園の組織的基盤として）

- ・新型コロナウイルスが感染症5類となりましたが感染がなくなったわけではないので、以前と同様に感染予防の継続を行う等の他、行事の人数制限・延期・一部変更等についても職員皆で試行錯誤しながら協力し行なえた事等が園を支えることにも繋がっているように感じます。  
また、全体協力していくことの大切さが以前より浸透してきたように感じます。
- ・今年度はコロナ過後もオンライン研修を多く取り入れたことで多数の職員が同時に多く受講できたことでお互いに共感共有でき、すぐに日常保育に繋げることができました。
- ・安全・危機管理等の他、それに続く事業継続計画(BPC)も同様に職員全体で理解し協力できるよう具体的に伝え合いたいです。
- ・連絡関係は感染等専用聞き取り用紙を活用たり、黒板記入・朝のクラス間連絡やメモを残すことで職員間での情報共有を図り、園の一斉メール等で保護者全体に迅速に連絡が行われました。

### (2)自分の任務に対して

- ・自己評価をしたことにより、園の保育方針・保育課程に理解が足りていないことが分かり、他職員との共通・共有理解の必要性を感じました。
- ・昨年度の自己評価から自分にとっての課題をある程度ですが頑張る事が出来たように思います。  
また、無理のない計画を立てる事も大切なこととわかりました。

- ・家庭への園児連絡等は個々にその日のエピソード等を交え丁寧な言葉遣いで具体的に伝えていく事の大切さと保護者側との温度差が発生しないよう心配りする難しさを改めて感じました。
- ・セルフチェックリスト等活用したことでの自分の保育を見つめ直していく事が出来ました。
- ・オンライン研修が増えたことにより、他クラス職員とすぐに情報共有・共通理解やコミュニケーションが増えたことで保育向上に繋がっていると感じています。

### (3)今後の課題・目標について

- ・本園の保育理念・保育目標を一人ひとりが理解し全職員共有できるよう定期的に確認を行いながら進めていくことの大切さと難しさを改めて感じました。様々な事柄やその時々の課題に全員で協力していけるよう全職員間でお互いの業務内容報告や連絡をし合い同時方向性を進められるよう協力していきたいです。
- ・職員全体で人権擁護セルフチェックリストやオンライン研修等を活用し、今迄に不適切保育がなされていないか等見つめ直しながら日々の保育を丁寧に行っていきたいと思います。
- ・保育園での日々の生活について家庭との共通理解を得る為の機会として保育参加等の行事を設ける等し、家庭と保育園が両輪となって成長を促せるよう努力してゆきたいと思います。
- ・苦情や要望にはその都度詳しく内容を聞き、園全体で早急に対応してゆきたいと思います。
- ・様々な感染症の情報提供等をその時々にあわせて迅速に伝え、保護者方々に安心していただけるよう配慮し、園舎室内の消毒・換気等も継続していきます。
- ・今後もオンライン研修を積極的に活用し、多くの職員が同時理解・共有できるようにしていきたいと思います。

今後も、山目保育園の保育理念・保育方針・保育内容等を全職員で共通理解しながら、心を一つにして研鑽に励み、保護者の皆様と一緒にお子様の健全なる成長に関わってまいりたいと思います。